

医療機関ご担当者様

独立行政法人国際協力機構
青年海外協力隊事務局

フィリピン国査証申請用の健康診断について

フィリピン国に派遣されるJICA海外協力隊は、同国に渡航するための査証を申請する際、フィリピン国政府指定フォームによる健康診断結果の提出が義務付けられています。つきましては、所定の用式にて診断書を作成いただき、添付書類と共に受診者に交付くださいますようお願い申し上げます。

お手数をおかけいたしますが、ご理解ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

● 提出書類：指定様式（MEDICAL EXAMINATION OF VISA APPLICANTS）の健康診断書（及び以下の添付書類がある場合は提出してください。）

1. Pertinent medical history（既往歴）
2. Significant physical examination（医師の診察所見）
3. Chest X-ray report（胸部X線検査の所見）
X-ray film（胸部X線の画像データをCD-RまたはDVD-Rに格納して提出）
4. Laboratory examination reports（検査結果）
 - a. Blood serology（血液検査）
 - b. Urine（尿検査）
 - c. Stool（便検査）
 - d. Medical clearance against AIDS virus（エイズ陰性の証明）

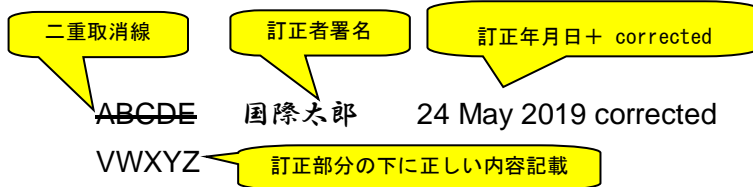
【記入方法について】

- 指定様式の健康診断書への記載はすべて英語表記をお願いします。すべての年月日は、西暦表記としてください（和暦による記載は不可です）。
→上から3行目の日付欄には、**西暦表記**で受診日（検査日）を記載してください。
- 受診者の写真に貴病院の公印を割印願います。（次ページ【記入例1】参照）
- 血液検査、尿検査、便検査は、日本で実施されている一般的な検査をお願いします。
- 総合判定は、CLASS A, CLASS B, CLASS Cのいずれかを○で囲むか、いずれにも該当しない場合はNot physically and mentally defective or diseased（の前のひし形の内部）にチェックを入れてください。
- 検査結果は、外務省で認証（アポステイーユ）を受ける必要があるため、指定健康診断用紙の下部空欄に、①発行年月日（**西暦表記**）、②受診医療機関（病院）名、③病院公印の3点のご記入をお願いいたします。（次ページ【記入例2】参照）
- 記載漏れの場合、原則追記不可となります。明らかに筆跡が相違する記載も追記とみなされる場合があるので、ご注意ください。
- 公印、訂正印による訂正は不可です。万が一、訂正が生じた場合は次の通りご訂正ください。

＜訂正方法＞

訂正部分を二重線で消し、訂正した医師のサイン（病院公印）、訂正した日付、correctedと記載。更に、本来記載すべき内容の「医師名+サイン（病院公印）」を訂正部分の下に記入する。

訂正例) 間違った内容: 「ABCDE」 を 正しい内容: 「VWXYZ」 に訂正する場合



- 外務省では、基本的には訂正が無い書類を認証することになっています。そのため、上記のとおり訂正しても訂正箇所が多いことで受理されなかった場合、再度、ご記入をお願いすることがありますので、ご了承ください。

【記入例1】(指定様式の診断書 (MEDICAL EXAMINATION OF VISA APPLICANTS) の上部)

※ 「Name」「Age」「Sex」「Citizenship」等、記入が必要な部分もご記入願います。

右上 受診者の写真には病院の割印をお願いします。↓
4カ所全てに割印する必要はありません。

【記入例2】(指定様式の診断書 (MEDICAL EXAMINATION OF VISA APPLICANTS) の下部)

【領収書について】

- 上記フィリピンの査証申請用健診 (MEDICAL EXAMINATION OF VISA APPLICANTS) (受診費用、文書作成費用) の他に、国際協力機構指定の派遣前健康診断を併せて実施した場合は、領収書を別々に分けて作成くださいますようお願いいたします。 以上